

災害前後から死亡までの経緯

災害弔慰金の認定を判断する際の重要な資料になりますので、できるだけ詳しく記入してください。

故人の氏名	
-------	--

1 災害発生前の故人の状況について

(1) 被災前（令和6年1月1日時点）に故人と同居していた家族

氏名	故人との続柄	特記事項
	(故人)	

(2) 被災前（令和6年1月1日時点）に自宅での介護の有無、内容、主に介護をされていた方

	介護の有無（あてはまるところに○）	介護者の氏名、故人との続柄
歩行（自宅内での移動）	全部を介助 一部を介助 介助なし	氏名 続柄
排泄（失禁の状況）	全部を介助 一部を介助 介助なし	
食事	全部を介助 一部を介助 介助なし	
入浴	全部を介助 一部を介助 介助なし	
衣類の着脱	全部を介助 一部を介助 介助なし	

(3) 被災前（令和6年1月1日時点）の故人の既往歴について

既 往 歴	〔口ある（心臓病、高血圧、糖尿病、その他（ ）） 口なし〕			
通院先 ※市町より聞 取調査を行う 場合があります。	病院名		担当医師	医師
	所在市町		通院状況	
	病院名		担当医師	医師
	所在市町		通院状況	

2 災害発生後の故人の状況について

(1) 自宅について

① 自宅の損壊状況

市町のり災証明に基づき、あてはまるところ1つに○を付けてください。

全壊	大規模 半壊	中規模 半壊	半壊	準半壊	一部 損壊	床上 浸水	床下 浸水	損壊なし (またはり災証明未申請)

② 自宅での居住の状況

災害発生当時の状況について、あてはまるところ1つに○を付けてください。

自宅に居住していた	病院に入院していた	福祉施設・介護施設に 入院していた	その他の場所に居住し ていた

③ 仮住まい又は自宅の再建、修理の状況

自宅が損壊した方は、あてはまるところに入居又は修理が完了した時期を記入してください。

	入居又は修理が完了した時期			
応急仮設住宅に入居	令和	年	月	日頃
借上げ住宅（みなし仮設住宅）に入居	令和	年	月	日頃
自宅を新築又は中古住宅を購入	令和	年	月	日頃
被災前から自宅を修理	令和	年	月	日頃
その他（ ）	令和	年	月	日頃

(2) 避難所又は親類宅での避難生活

自宅以外の場所で生活された方は記入してください。

① 避難生活をされた場所

避難所となった場所の名前	その避難所に移った時期			
	令和	年	月	日頃
	令和	年	月	日頃
	令和	年	月	日頃
	令和	年	月	日頃

② 親類宅、知人宅などでの避難生活

避難先の世帯主名	故人との続柄 (親類宅のみ)	避難先の 市町村名	避難所に移った時期			
			令和	年	月	日頃
			令和	年	月	日頃
			令和	年	月	日頃
			令和	年	月	日頃

帰宅できた（令和 年 月 日頃） ・ 帰宅できなかった

	介護の有無（あてはまるところに○）	介護者の氏名、故人との続柄
歩行（自宅内での移動）	全部を介助 一部を介助 介助なし	氏名 続柄
排泄（失禁の状況）	全部を介助 一部を介助 介助なし	
食事	全部を介助 一部を介助 介助なし	
入浴	全部を介助 一部を介助 介助なし	
衣類の着脱	全部を介助 一部を介助 介助なし	

(1) 災害のために発生した何の出来事が、故人の死亡につながったと考えるのか、具体的に記入してください。

① 災害が原因で発生した出来事を書いてください。	② ①によって、故人の様子がどのように変化したのか書いてください。

(2) あなたが考える、故人の死亡と被災との関係を簡潔に書いてください。

4 災害関連死の公表の同意について

審査会で災害関連死として認定された場合、公表してよい項目に「○」をつけてください。

年代	性別	死因	死亡した経緯